

奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて

1 統廃合ロードマップ見直しの背景

市は、待機児童の解消と老朽化施設の改築の問題を解決するため、平成29年度に「奥州市立教育・保育施設再編計画」を策定し、令和3年度には実施計画となる「教育・保育施設の統廃合ロードマップ」を策定し、令和6年度までに予定していた公立施設の統廃合を進めてまいりました。

しかし、近年、急速に児童数が減少し、新たな課題が生じていることから、早急に統廃合ロードマップの見直しを図るため、地域や保護者の代表者、教育・保育施設の代表者等で構成する「教育・保育施設再編準備委員会」を設置し、統廃合ロードマップの見直し案を策定することとしたものです。

2 公立教育・保育施設の現状

(1) 統廃合ロードマップの進捗状況（令和7年4月1日現在）

地域	施設名 ● 存続対象施設	建設年	定員 (人)	在園 (人)	進捗状況 【完了年次】
水沢	佐倉河幼稚園 羽田幼稚園 ● いずみ保育園 みなみ保育園	S51 S54 H22 S53	60	56	廃止【令和5年度】 廃止【令和5年度】 廃止【令和5年度】 廃止【令和5年度】
江刺	岩谷堂幼稚園 ● 田原保育所 江刺南保育所 梁川保育所 広瀬保育所 玉里保育所 江刺ひがしこども園 ● 稲瀬わかば園	H16 H20 H20 S54 H3 S57 R6 H16	65 50 130	27 32 57	廃止【令和5年度】 廃止【令和5年度】 玉里保育所へ統合【令和3年度】 玉里保育所へ統合【令和3年度】 廃止【令和6年度】⇒ 認可変更 新設【令和6年度】⇒ 認可変更
前沢	● 前沢保育所 ● 前沢北こども園	H4 R2	140 150	96 100	新設【令和2年度】
胆沢	小山東幼稚園 南都田幼稚園 若柳幼稚園	S62 S55 S58	160	9	廃止【令和5年度】 廃止【令和5年度】
衣川	● あゆみ園	H19	120	41	
合計			875	418	令和3年度17施設 → 8施設

(2) 就学前児童数の推移と今後の見込み（表1）

人口統計（各年度3月31日現在、令和7年度以降は推計値）

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
水沢	3,174	3,163	3,117	3,000	2,891	2,771	2,680	2,571	2,381	2,161	1,962	1,814	1,693	1,602	1,528	1,515
江刺	1,343	1,276	1,209	1,171	1,135	1,072	1,025	983	928	891	808	747	697	659	629	623
前沢	687	647	612	600	584	573	561	516	467	422	383	353	330	312	298	295
胆沢	733	743	681	642	605	561	519	489	447	399	361	334	312	295	281	279
衣川	181	179	170	147	141	123	112	103	86	67	61	56	52	50	47	47
計	6,118	6,008	5,789	5,560	5,356	5,100	4,897	4,662	4,309	3,940	3,575	3,304	3,084	2,918	2,783	2,759

就学前児童（各年度3月31日時点の00歳児～5歳児）については、この10年間で2,178人（36％）が減少しています。地区別の減少率は、水沢32％、江刺34％、前沢39％、胆沢46％、衣川63％と急速に少子化が進行していることがわかります。

令和7年度以降の児童数の見込みは、各年度の出産可能年齢の女性人口（転出等の社会的な移動を見込まない。）に合計特殊出生率と補正係数を乗じて算出しています。

●歳児の注釈（例）

00歳児：当該年度に生まれた子ども（年度内は0歳のまま）

0歳児：前年度に生まれた子ども（年度内に1歳になる）

1歳児：前々年度に生まれた子ども（年度内に2歳になる）

水沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	440	415	441	358	344	350	337	319	248	229	168	188	216	235	245	234
0歳児	434	450	415	450	371	345	350	344	318	247	229	168	188	216	235	245
1歳児	487	434	440	405	451	377	347	351	332	319	247	229	168	188	216	235
2歳児	458	481	432	441	402	453	364	340	338	326	319	247	229	168	188	216
3歳児	482	461	471	431	435	401	446	372	339	337	326	319	247	229	168	188
4歳児	443	483	449	471	419	434	399	443	371	336	337	326	319	247	229	168
5歳児	430	439	469	444	469	411	437	402	435	367	336	337	326	319	247	229
計	3,174	3,163	3,117	3,000	2,891	2,771	2,680	2,571	2,381	2,161	1,962	1,814	1,693	1,602	1,528	1,515

江刺地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	176	150	143	144	135	128	112	111	101	107	76	91	86	81	87	95
0歳児	163	165	157	153	146	143	135	116	116	101	107	76	91	86	81	87
1歳児	195	164	164	159	156	143	145	139	115	117	101	107	76	91	86	81
2歳児	180	198	160	171	162	155	149	147	137	119	117	101	107	76	91	86
3歳児	210	177	200	156	171	163	154	151	146	136	119	117	101	107	76	91
4歳児	208	211	180	203	162	176	162	159	154	152	136	119	117	101	107	76
5歳児	211	211	205	185	203	164	168	160	159	159	152	136	119	117	101	107
計	1,343	1,276	1,209	1,171	1,135	1,072	1,025	983	928	891	808	747	697	659	629	623

前沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	78	77	78	71	60	66	66	56	33	48	42	42	50	40	40	33
0歳児	80	83	82	80	76	63	69	59	56	36	48	42	42	50	40	40
1歳児	90	82	86	80	85	79	66	71	57	54	36	48	42	42	50	40
2歳児	94	90	82	93	80	91	79	68	70	58	54	36	48	42	42	50
3歳児	95	93	95	83	96	79	94	83	70	73	58	54	36	48	42	42
4歳児	127	93	94	96	87	102	81	95	82	72	73	58	54	36	48	42
5歳児	123	129	95	97	100	93	106	84	99	81	72	73	58	54	36	48
計	687	647	612	600	584	573	561	516	467	422	383	353	330	312	298	295

胆沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	79	95	78	73	67	61	61	49	37	39	35	47	40	43	39	36
0歳児	91	82	94	78	71	71	60	60	53	38	39	35	47	40	43	39
1歳児	111	93	84	94	79	68	70	57	60	53	38	39	35	47	40	43
2歳児	98	120	93	83	93	88	69	73	64	60	53	38	39	35	47	40
3歳児	103	100	119	96	82	93	83	71	73	62	60	53	38	39	35	47
4歳児	140	108	98	118	98	83	93	83	73	74	62	60	53	38	39	35
5歳児	111	145	115	100	115	97	83	96	87	73	74	62	60	53	38	39
計	733	743	681	642	605	561	519	489	447	399	361	334	312	295	281	279

衣川地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	22	21	24	13	17	5	6	9	9	4	12	10	2	6	3	10
0歳児	24	22	20	26	14	17	4	8	7	10	4	12	10	2	6	3
1歳児	24	23	23	20	26	15	16	4	8	6	10	4	12	10	2	6
2歳児	27	27	19	23	20	25	16	17	5	8	6	10	4	12	10	2
3歳児	31	28	26	15	24	22	25	16	14	6	8	6	10	4	12	10
4歳児	25	32	27	25	15	24	22	27	17	15	6	8	6	10	4	12
5歳児	28	26	31	25	25	15	23	22	26	18	15	6	8	6	10	4
計	181	179	170	147	141	123	112	103	86	67	61	56	52	50	47	47

(3) 保育施設の利用推移（表2）

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
就学前児童数 A	5,789	5,560	5,356	5,100	4,897	4,662	4,309	3,940
要保育児童数 B (入所希望者)	3,190	3,277	3,307	3,281	3,242	3,133	3,091	2,879
要保育児童の割合 C(B/A) %	55.1	58.9	61.7	64.3	66.2	67.2	71.7	73.0
入所児童数 D	3,070	3,098	3,142	3,157	3,124	3,018	2,983	2,826
待機児童数 B-D (うち法定待機数)	120 (31)	179 (79)	165 (56)	124 (42)	118 (64)	115 (89)	108 (82)	53 (13)

(注意)・要保育児童数B及び入所児童数Dについては、幼稚園及び認定こども園の幼稚園分(1号)を除く。

・法定待機は、施設の空きがあっても、特定の園への入所希望により入所しない者等を除外した数。

・Aは各年度3月31日現在、Bは各年度3月1日現在の数字。

表2は、市内の保育施設（2・3号）の利用推移です。就学前児童数は、平成29年度から32%（1,849人）減少していますが、女性の就労や核家族の増加などの要因により、保育を必要とする要保育児童の割合（表：C）は17.9%上昇しており、今後も労働力不足等が進むことにより、保育の利用を希望する割合は高いまま推移すると予測しています。

●認定区分

- 1号：満3歳以上で幼稚園や認定こども園での教育を利用する就学前の子
- 2号：満3歳以上で保育が必要な理由に該当する就学前の子
- 3号：満3歳未満で保育が必要な理由に該当する就学前の子

3 新たな課題

(1) 適正な集団規模の形成が困難な教育施設の発生（胆沢地域：小山東幼稚園）

小山東幼稚園の園児数の推移（各年度4月1日現在）（表3） カッコは、複式学級

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
3歳児	9	14	4	6	2	1
4歳児	8	9	14	6	6	2
5歳児	10	10	9	14	8	6
合計	27	33	27	26	16	9

市の再編計画の中では、望ましい児童数の集団を1学級あたり20人と設定していますが、児童の発達の度合い等によって違いがあるため、一律に決めることは難しいところです。幼稚園の指導の中心となる「遊び」の最小単位を3～4人とし、その集団が3以上形成されるような学級が望ましいと考え、1学級10人程度は必要です。

少人数教育のメリットは、一人ひとりの園児に目が届きやすく、発達段階や個性を把握しやすいことによりきめ細やかな関わりができることですが、デメリットとして、人間関係が固定化しやすく、多様な関わりを経験する機会が減る可能性や、集団での活動が制限されることが挙げられます。

公立施設の1号（幼稚園利用）の入所推移（各年度4月1日現在）（表4）

		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
認定こども園	稲瀬わかば園	11	9	8	9	6	4
	江刺ひがしこども園					0	2
	前沢北こども園	66	58	52	36	31	16
	あゆみ園	21	19	18	13	8	6
幼稚園	佐倉河幼稚園	28	24	20	9		
	羽田幼稚園	9	11	9	7		
	岩谷堂幼稚園	14	12	10	8		
	小山東幼稚園	27	33	27	26	16	9
	南都田幼稚園	28	25	26	24		
	若柳幼稚園	12	11	6	6		

※女性の就労や核家族の増加などにより、1号認定の子どもは減少し、2・3号認定の子どもの割合は増加。

小山東幼稚園に通園している児童の保護者に対し、施設利用にかかるアンケート調査を令和7年6月に実施しました。その結果は以下のとおりです。

【保護者アンケートの結果】

●小山東幼稚園に入園した理由（全園児）複数回答

幼稚園で教育を受けさせたかったから	7	77.8%
自宅から近いから	6	66.7%
預けられる条件に該当したから	5	55.6%
兄弟姉妹が入園しているから	4	44.4%
少人数の教育や保育を望むから	4	44.4%
バスの送迎があるから	3	33.3%
保育園、認定こども園を希望したが入園できなかったから	0	0.0%

●小山東幼稚園での教育や施設的环境をどのように感じているか（全園児）複数回答

幼児期に必要な経験の機会を作っている	9	100.0%
子どもの性格や発達状態に合わせたきめ細かい対応がされている	9	100.0%
少人数のため、子ども一人ひとりに目が届いている	9	100.0%
少人数ならではの行事や活動を工夫している	9	100.0%
保護者が相談しやすい	8	88.9%
行事の規模が小さく、活動が限られている	2	22.2%
小学校への移行を見据えたときに「集団活動」の機会が少なく不安を感じる	1	11.1%
多くのともだちとの生活が望ましい	1	11.1%
建物が古く不安を感じる	1	11.1%
設備が旧式で不満を感じる	1	11.1%

●今後の意向（3歳児と4歳児のみ）

さらに人数が減少しても在園児が卒園するまで園を継続してほしい	3	100.0%
園児数が増えない場合は転園を検討したい	0	0.0%

アンケート調査の結果、児童の保護者のほとんどが、現在の小山東幼稚園の教育環境に満足していることがわかりました。

また、来年度、4・5歳児になる3人の園児の保護者は、「さらに人数が減少しても卒園するまで園を継続してほしい」という考え方をもっています。

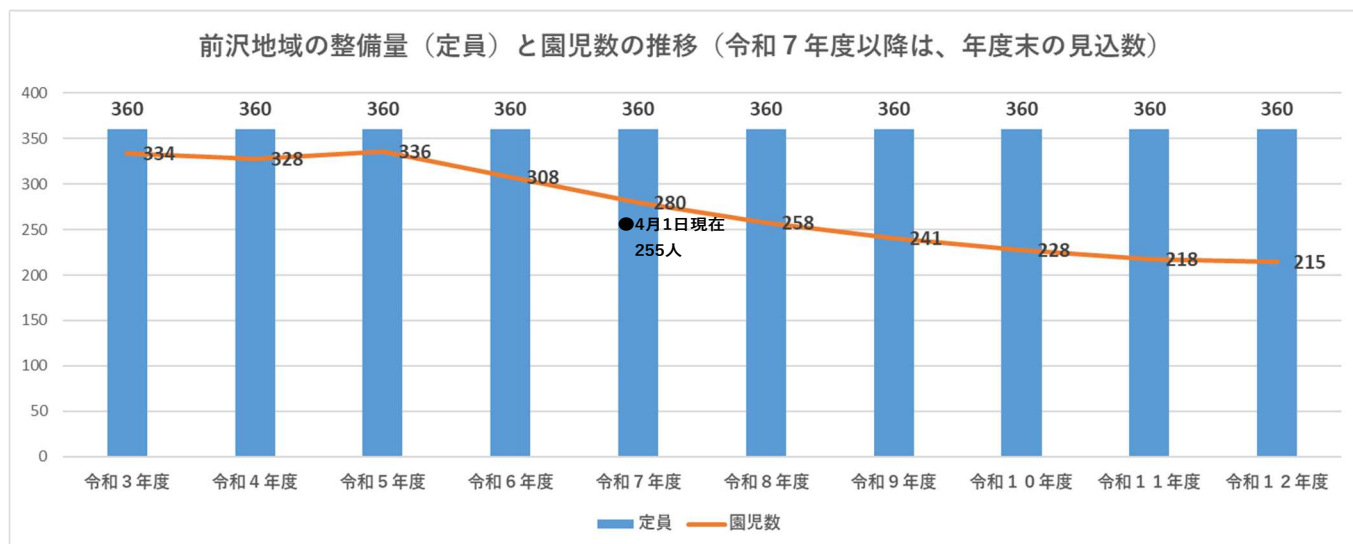
幼児教育では、子どもの自主性や好奇心を尊重し、遊びを通して学びを深めること、そして集団生活を通して社会性を育むことが必要です。発達段階に合わせた適切な集団規模による教育環境を提供することが重要です。

(2) 整備量（定員）が余剰になっている地域の発生（前沢地域）

前沢地域には、公立２施設（前沢保育所、前沢北こども園）と私立１施設（前沢保育園）があります。

市の再編計画では、前沢保育所を認定こども園に移行する計画となっていますが、前沢地域の近年の出生数等から推計すると、園児数は減少する見通しです。

一方で、令和７年４月１日現在の前沢地域の整備量（定員）は、園児数（需要）を１００人程度上回っており、私立施設では大きな定員割れが発生しています。



※園児数は、各年度３月１日現在（令和７年度以降は、就学前児童数に利用率73%を乗じた推計値）

※定員及び園児数は、１号（幼稚園利用）を除く２・３号（保育利用）のみ。

施設別 入所状況の推移（表５） （各年度３月１日現在 令和７年度は４月１日現在）

施設名	種別	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		入所(人)	入所(人)	入所(人)	入所(人)	入所(人)
(公立) 前沢保育所 【施設定員140人】	１号					
	２号	81	77	70	64	59
	３号	49	50	51	50	37
(公立) 前沢北こども園 【施設定員150人】	１号	58	52	36	29	16
	２号	43	45	63	64	61
	３号	33	33	33	29	23
(私立) 前沢保育園 【施設定員130人】	１号					
	２号	72	73	69	63	52
	３号	56	50	50	38	23
合計	１号	58	52	36	29	16
	２号	196	195	202	191	172
	３号	138	133	134	117	83
	2,3号計	334	328	336	308	255

＜前沢地域の教育・保育施設の設置状況＞（表 6）

	建築年	築年数	定 員	公私
前沢保育所	平成 4 年	33年	2・3号 140名	公立
前沢北こども園	令和 2 年	5 年	1号 60名、2・3号 90名 【計150名】	公立
前沢保育園	昭和56年	44年	2・3号 130名	私立
合 計			1 号 60名、 2 ・ 3 号 360名	

前沢地域の就学前児童数は、令和 6 年度末で422人となり、過去10年間で約40%減少しています。これまでは、3施設の合計定員（2・3号のみ）360人に対し、90%以上の定員充足率でしたが、急速な少子化により、令和 6 年度は86%、令和 7 年度当初は71%（255人：グラフ●）にまで低下しています。これは、前沢地域の定員が余剰になりつつあることを示しており、児童数の減少が続く場合、私立施設の経営への影響が懸念されます。

前沢地域の公立施設は、どちらも規模が大きく、特に3つの幼稚園が統合して新設された前沢北こども園は、3歳以上児で2クラスを編成できるよう整備されています。今後は、1号（幼稚園）定員を減らし、2・3号（保育）定員を増やすことで、増加する保育の需要に対応することが可能です。

4 見直しの方針と統廃合ロードマップ案

(1) 見直しの方針

① 健全な児童育成のため、適正規模による教育・保育を提供します。

小学校教育につながる適正規模の集団を形成するよう、公立施設の統廃合を検討します。

② 私立施設の経営の安定化を図るよう、整備量（定員）が余剰になる地域にある公立施設を見直します。

私立施設と公立施設が競合しないよう、将来的に整備量が余剰になる地域の公立施設の定員や統廃合を検討します。

③ 「民ができることは民に」の考え方に立ち、公立施設は私立施設を補完する役割を果たします。

公立施設は、私立施設のない「サービス空白地域」における教育・保育の提供を行うことや、障害児や医療的ケア児など特別な配慮が必要な子どもへの対応を担います。

(2) 統廃合ロードマップの見直し（案）

<地域別>

- ◆水沢地域は、整備量（定員）が充足しつつあり、私立施設で受入れが可能なため、いずみ保育園の3号（0歳～2歳児）の定員を10人減員し、増加傾向にある配慮が必要な子どもの受入体制整備に充てます。
- ◆江刺地域は、児童数は減少しているものの、区域の広さから「サービスの空白地域を作らないこと」を考慮する必要があります。また、今後、企業誘致等による人口増の可能性もあることから、3施設を維持しながらも、園児数が減少し、複式学級による保育が続く場合は見直しを検討します。
- ◆前沢地域は、需要（園児数）に対して整備量（定員）が余剰になっています。児童数の減少に伴い、公立施設は1施設で充足することから、老朽化している前沢保育所について、現園児が卒園する令和12年度末をもって前沢北こども園に統合し、閉園します。（令和8年度から新園児の募集を停止するものの、現園児の兄弟児に限り閉園までの間、新規入所を認めます。）
- ◆胆沢地域は、ここ2年複式学級となっている小山東幼稚園について、需要（園児数）が増加する見込みが少なく、適正な集団規模による教育の提供が十分とはいえない状況になるため、現園児のすべてが卒園する令和9年度末をもって閉園します。ただし、閉園までの間、新園児の募集を継続します。なお、在園児の保護者の意向を確認したうえで、予定する閉園時期を早めることがあります。
- ◆衣川地域は、「サービスの空白地域」を作らないよう、あゆみ園を存続させます。

5 見直しのスケジュール

- 令和7年5月 未就園児ニーズ調査実施
- 6月 小山東幼稚園保護者へアンケート調査実施
- 8月 第1回再編準備委員会（前沢地域、胆沢地域）
- 9月 保護者説明会、市民説明会（前沢地域、胆沢地域）
第2回再編準備委員会（前沢地域、胆沢地域）
- 10月 子ども・子育て会議
保護者通知
令和8年度園児募集開始
（前沢保育所は新園児の募集を停止）